

ENERGY STAR 製品の資格喪失の手続き

製品資格喪失の基準:

1. 試験の失格— 製品資格喪失は以下の認証試験の取り組みのいずれか1つの性能試験の失格によるものとする:
 - 第三者認証試験 – これは 2010 プログラム促進への取り組みのもと制定された ENERGY STAR の新規試験プログラムである。認証試験(および EPA へのテスト失格照会)が 2011 年秋に導入された。
 - CFL 第三者試験 – このプログラムおよびその根本となる CFL 製品仕様は DOE によって開発され 2010 年夏の第一周期の間実施の為に EPA に移管された。一般的に、2つの試験周期は年ごとに起こり、1周期につきおよそ 180CFL モデルが試験される。ゆくゆくはこの試験プログラムは EPA の第三者認証試験プログラムに統合される。
 - 品質保証照明プログラム(QA4) – この EPA 試験認証プログラムは家庭での照明器具をテストする。この試験プログラムもまた EPA の第三者認証試験プログラムに統合される。
 - DOE 電気製品試験 – DOE の冷蔵庫、食器洗浄機、洗濯機および室内冷房機を対象とした ENERGY STAR 電気製品試験プログラムは引き続き EPA の試験失格照会の基準とする。

製品の不一致・少数ケースで、試験が製品適合失格の為に必要でない場合がある。例として製品の分類化での矛盾、また製品の市場の使用が本来認定された使用と一致しないことが含まれる。

不適合の決定:

1. 認証機関(CB)による EPA 告知- CB はテスト失格の判定の 2 日間以内に試験失格を EPA に報告することが必須とされている。EPA の情報の見直しに際して、EPA は製品の試験失格が CB の行政上の誤り、試験所の管理上の誤り、パートナーの行政上の誤りまたは僅少な性能偏差の理由による資格喪失を保証しないことを考慮する。そういった場合については、EPA はそれ以上のアクションを執り行わないと決定する。
2. 製品製造者告知と紛争の機会- EPA が製品が資格喪失を是認するとした際、機関は製品製造者から提供された製品製造者の E メール先に告知し、書面での返答について 20 日の猶予を与える。返答には追加の関連情報を含んだものを EPA に提出するものとする。適用できる箇所については、EPA は DOE に適切な試験方式の応用について相談することとする。EPA は製品創造者から提出された情報を見直し、いかなる追加の製品試験または/もしくは分析が必要かどうかを検討する。製品製造者が誠実に行動し EPA によって必要であるとみなされた際、EPA は法律不順守の可能性のある問題を解決する為に必要な時間を提供する。
3. EPA は製品状況の最終判断を行い、その決定に関して製品製造者に通達する。

案件管理

1. EPA が製品製造者に対しての試験失格の告知に関する全ての問題は案件番号を割り当てる。

2. 製品製造者のパートナー、部品供給業者および他の関係各者は機関との連絡に際して案件管理番号を求められる。
3. 案件追跡シートはそれぞれの案件を文書化する為制作され保持される。

製品製造者製品管理措置

製品製造者は不合格製品の製品管理措置提出用の基準フォーマットを提供され、それらの提出に際し告知から 20 日の猶予を与えられる。

製品が不適合となった全例において、製品製造者は最小限度必要とされるのは、

- 即座に製品個体のラベル貼付と出荷をやめること。
- 関連した販売資料、仕様書、ウェブサイトから ENERGY STAR 関連情報を削除すること。
- 製品製造者の管理内で製品個体上のラベルのカバーもしくは除去を行うこと。

追加の措置が、あるケースで必要になる場合がある。下記の要因が必要条項を明らかにする上で考慮される。

- 消費者投資
- 製品製造の最終日
- 出荷最終日
- 製品個体製造数量
- 製品タイプの推定セルスルー期間
- 製品流通の範囲と見込み、そして
- 採用された発生防止対策

製品管理措置は不合格製品のモデル番号を基にしてそれに準用する。製品が変更されたが新規のモデル番号で再認証されていないものは、その製品が認証製品だった期間におきた製品の仕様変更に関係なく、モデル番号の全ての製品個体に対して管理措置が適用される。

以前に不合格になったモデル番号を使用して新規に ENERGY STAR 製品が承認されることはいかなる場合も起こらないとする。

製品管理措置の提出が完全に迅速に行うのを怠るとパートナーシップの恩恵に影響を与えるものとする。

関係者告知:

1. 適合認証製品リストの更新 – 適合製品不合格の判定が下された際、そのモデルは ENERGY STAR 適合認証製品リストから削除される。EPA は関連の CB に CB 製品リスト内においてそのモデルを適合製品資格喪失とするよう告知する。
2. ENERGY STAR 基準のウェブサイト更新 – 一旦製品が ENERGY STAR 適合認証製品リスト

から削除されると、EPAはそのモデルをENERGY STARプログラム基準ウェブサイト上の適合製品資格喪失製品リストに登録する。このウェブサイトは消費者と公益企業に製品基準を満たさないモデルに関する情報を提供する。

3. 公益企業告知 – 月ベースで、定期的な適合製品資格喪失の更新を決めるこれらの公益企業は、その期間に不合格になったものを受けての製品カテゴリーの告知を受ける。

法令順守監視:

ENERGY STAR ロゴの適切な使用を明確にするためのさらなる施策として、EPAは不適合製品からラベルを効率よく削除する手助けをする主導的な組織を支持する。

1. 小売店レベルの評価(Retail Store-Level Assessment (RSL) – RSLプロジェクトは、ENERGY STAR としての適合認証製品が適切にラベル貼付されているかを確認する年に2回米国全域における小売店の商品棚見直しの実施を含む。またそれは、いかなる不適合モデルがそのままENERGY STAR 適合製品として引き続き広告もしくは、ラベル貼付されていないかを確認するための店頭棚とオンラインの徹底した見直しも含まれる。
2. 商用食物サービス(CFS)監視 – CFS プロジェクトは CFS 産業の中で使われている ENERGY STAR ロゴ使用の見直しを行っており、トレードショー、カタログ、ウェブサイトマーケティングにおいて適合認証製品のみがラベル貼付され ENERGY STAR 製品として流通しているかを確認する作業も含まれる。
3. 関税所在港 – 米国の港に到着した ENERGY STAR 貼付の不合格製品の検査および押収を支援するため、ENERGY STAR は密接に米国税関と協力する。

連邦商標所有者として、EPAはこれらの手続きを適切なものに調整もしくは変更する権利を保持する。